

エフエム八ヶ岳番組審議会報告

■2018年12月

エフエム八ヶ岳の第147回番組審議会は2018年12月8日、北杜市小淵沢町のエフエム八ヶ岳演奏所ホールで開かれました。特別番組「水の山 こども情報局・前編」について意見を交わしました。坂本仁委員長、三井としゑ、山寺直美、渡部明美、田丸博之、田丸良比古の各委員と放送局側から山本昭理事が出席しました。

この特別番組「水の山 こども情報局・前編」は、10月29日午前9時15分(再放送動11時、午後7時)に放送しました。北杜市が主催して故郷が誇る八ヶ岳、南アルプス、茅ヶ岳といった「水に恵まれた山々」に囲まれ、3つの名水百選、5つの日本百名山があることを調べて、学んで、全国に知らせよう、と市内の小学生に募集しました。未来のジャーナリストを目指そうということも目的の一つだそうです。エフエム八ヶ岳でのレポート役として9人の小学生が出演してくれました。子供たちは放送局スタジオ見学、番組収録体験をしました。運営に当たったのは北杜市内の一般社団法人「里くら」が当たり、来年2月にも後編を放送する予定です。

委員からの主な意見は以下の通りです。

- ・ 小学校にスポットを当て、各小学校で実施している『総合的な学習の時間』に勝るとも劣らない素晴らしい内容になっている
- ・ 北杜市の試み、つまり市内の名水百選とか日本百名山のことを調査し、学び、子どもたちにその発表の機会を与えることと、多くの人に伝えていこうとすること、が良かった
- ・ 子どもたちの気持ち手が取るようによくあらわれていて、よかったですね。グループとかではなく、お父さんと一緒に登山した体験など、1人で調べて、発表して、課題を見つけた子供もいて良かった
- ・ 子供目線で見た内容だが、非常に新鮮で、大人が聴いていても再認識できるような、有意義な企画だった。この企画によって、リスナーの年齢層が小学生にまで拡大されるといい
- ・ 全体として面白く聞かせていただいた。ただ一つ、番組の最初にプロジェクトの全体像の説明をもう少し丁寧にした方が良かった。誰がどのように募集して、いつどういう風に活動したか、といった具体的な内容を紹介しておくともっと理解しやすかったと思う
- ・ いい企画には違いないのですが、目標としている情報レベルというものが分かりにくかったです。素朴な感想レベルから循環型農業、森林限界、といったレベルの高いキーワードまで出てきて、話の進め方に整理が必要ではないかと思った
- ・ 出演していたのが女の子ばかりでしたね。男子ががんばらないと困りますね。男女2人ずつとかのほうがバランスが良かったように思う
- ・ 北杜市では現在「はらっぱ教育」を推進しているが、まさにその趣旨に合致した素晴らしい内容。今の学校教諭は経験が不足しているというか、こうした教育をなかなか学校現場で実践できないのが現状だと思う。そういう意味でも番組企画のように、子どもたちが

あるテーマを持って自ら調べ、学んでいく姿勢を身に付けてもらいたい